

国語科 学習指導案

府立千里高等学校
指導者 和田 法子

1. 日 時 令和元年 12 月 19 日 (木) 第 5 時限 13 時 15 分～14 時 05 分

2. 場 所 本館 2 階 図書室

3. 学年・組・教科 (科目) 第 1 学年 4 組 (総合科学科 39 名)・国語総合 (現代文)

4. 単元 (題材) 名 「良識派」 安部公房
使用図書は、教科書：精選国語総合新訂版 (大修館書店)

5. 単元 (題材) の目標

- ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりしようとしている。 (関心・意欲・態度)
- ・文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりしている。 (読む能力)
- ・文中の表現について自分の考えを伝えたり、他の人の考えを尊重したりして聞いている。 (話す・聞く能力)
- ・寓話の構成や展開の工夫、表現の特色などを捉えながら書いている。 (書く能力)

6. 教材観

・本教材はきわめて短く簡潔な文章であり、動物たちが思考や会話をするというユーモラスな内容のため、普段読書にあまり親しみを持たない生徒にとっても非常に読みやすいお話である。その親しみやすさゆえ、主体的で意欲的な活動が期待できる。作品が含み持つ寓意は高度であるが、本文中のさまざまな表現に着目しながら話し合いを重ねていくことで、考えを深めながら読むことの契機としたい。また、本教材を読み味わうことで寓話的な表現方法を用いた文章表現への理解を深めたい。

7. 生徒観

・学級の雰囲気は落ち着いており、学習態度はまじめである。読解した内容についての意見交換などを積極的に行うことができるが、表面的な読みにとどまる傾向がある。これまでの授業で、評論の要約やテーマ論文などの文章表現については回数を重ねてきているが、寓話的表現に触れることは初めてである。

8. 指導観

・まずはストーリーを押さえた上で、表現についてどのようなものとして描かれているかを考えさせ、登場人物がどのようなものを表しているのかを、班での意見交換を通して考えさせる。この時、「オリ」という表現をめぐる人物の関係性などを意識しながら話し合いをするよう留意させる。また、文章を読解していく中で、「良識派」の辞書的意味と本文中の意味が異なることに気付かせ、「良識派」と題した書き手の意図を捉えられるようにする。

9. 単元（題材）の評価規準（国語は5観点）

a 関心・意欲・態度	b 話す・聞く能力	c 書く能力	d 読む能力	e 知識・理解
文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりしようとしている	内容や表現の仕方について自分の考えを伝えたり、他の人の考えを尊重したりして聞いている。	寓話の構成や展開の工夫、表現の特色などを捉えながら書いている。	表現の効果や関係性を意識した読解を行ったり、書き手の意図を捉えたりしている。	

10. 単元の指導と評価の計画（全3時間）

*○必要に応じて評価する（指導に生かす評価）
◎全生徒を評価する（記録に残す評価）

時	学習内容	評価の観点*					主な評価規準・評価方法
		a	b	c	d	e	
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・寓意の読み取れる昔話や童話を使い、寓話について理解を深める。 ・作品を読み、登場人物や話の流れを理解する。 ・「オリ」がどういうものかを考える。 	○			◎		<p>【a】文章の構成や展開を確かめようとしている。（記述の点検）</p> <p>【d】表現の効果を意識した読解を行っている。（記述の点検）</p>
第2時 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・「カギ」「ツメ・キバ」がどういうものかを確認する。 ・「ニワトリたち」「一羽のニワトリ」「人間」がそれぞれどんな人間であるかを班で考える。 ・本文中の「良識派」の意味が辞書と異なることを確認する。 	○	◎		◎		<p>【a, b】内容や表現の仕方について、意見交換を行っている。（観察）</p> <p>【d】「オリ」という表現をめぐる登場人物の関係性を意識しながら読解し、登場人物を抽象的な言葉で言い換えている。（記述の点検）</p>
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内での「良識派」の意味や、そのような題をつけた筆者の意図を考える。 ・寓話作成を行う。 	○	○	◎	◎		<p>【a, d】「良識派」と題した書き手の意図を捉えている。（観察・記述の点検）</p> <p>【c】寓話の構成や展開の工夫、表現の特色などを捉えながら書いている。（記述の点検）</p>

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・「オリ」という表現や登場人物の関係性を意識しながら読解し、登場人物を抽象的な言葉で言い換えている。【d】

(2) 本時の評価規準

- ・「オリ」という表現をめぐる登場人物の関係性を意識しながら読解し、抽象的な言葉で言い換えることができる。【d】

(3) 本時の準備物

- ・教科書、補助プリント

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
7分 導 入	○前時の復習・宿題の確認をする。 ○本時の目標を確認する。 ○本文を音読する。	・前時までの学習経過を確認する。 ・グループ活動を行うことを伝える。 ・本時の目標を提示する。 ・前に立たせて音読を行わせる。	
37分 展 開	○「カギ」「ツメ・キバ」がどういうものかについて、考えてきたことを班で共有する。（5分）	・マグネットシートを各班に渡し、使い方を説明する。 ・マグネットシート上に意見をどんどん書くように指示する。	【a, b】内容や表現の仕方について、意見交換を行っている。（観察） 【d】「オリ」という表現をめぐる登場人物の関係性を意識しながら読解し、登場人物を抽象的な言葉で言い換えている。（記述の点検）
	○「ニワトリたち」「一羽のニワトリ」がそれぞれどんな人間のことをあらわしているかを班で考え、記述する（8分） ○「人間」がどんな人間のことをあらわしているかを班で考え、記述する（8分）	・意見は3つ以上書くように指示する。 ・「オリ」をめぐる関係性を意識した意見を出すよう指示する。 ・熟語を使うなど、抽象的な言葉で言い換えることをめざすよう指示する。 ・書けていないグループには個別で対応する。	
	○マグネットシートに書いた班の意見を順番に見て回り、おもしろい意見のところに付箋を貼る。（13分） ○題名にもなっている「良識派」という単語の辞書的な意味を示し、本文中での意味が異なることを確認する。（3分）	・マグネットシート上の文字は消えやすいので、できる限りマグネットシートを動かしたり文字に触ったりしないよう注意する。 ・前時のプリントで調べた「良識派」の辞書での意味を確認した上で、本文中の意味と異なることに気付かせる。	
6分 ま と め	○次回の内容の確認をする。	・次回、「良識派」というタイトルについて考えることを伝える。	

「観点別学習評価の判断規準」の設定

判断基準 評価規準	S プラスαが見られる	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 指導の手立て
【d】	「オリ」などの表現をもとに、登場人物たちの関係性や、どのような人間のたとえであるかを考えた。さらに、熟語などの抽象的な言葉を使って言い換えることができた。	「オリ」などの表現をもとに、登場人物たちの関係性や、どのような人間のたとえであるかを考えた。	本文を読み、登場人物がどのような人間のたとえであるかを考えた。	机間指導を行い、第1時に行った内容読解の結果（登場人物・話の流れ・重要表現などを個人のプリントにまとめたもの）を再度読ませ、確認した内容を参考に考えるよう指導する。